

ゆうかり放送委員会提供  
**ゆうかりに乾杯**  
 第106回放送の概要 (2015年12月26日放送)

**パーソナリティ**  
 さくら  
 (安本久美子)  
 たろう  
 (佃 由晃)  
 なか  
 (中嶋邦弘)  
 かりん  
 (妹尾優香)  
 あな  
 (岸本幸恵)



**ミキサー**  
 門ちゃん  
 (門田成延)  
  
**相談役**  
 わだかん  
 (和田幹司)  
  
**会計**  
 小山俊則

(CM) 神戸を代表する本格中華料理の名店、神仙閣神戸店は、昭和9年の創業から今もなお、神戸の地で愛され続けており、繊細な味わいと中華の伝統スタイルを継承しながら、華やかな北京料理を提供させていただいています。  
 神仙閣神戸店で、同窓会、披露宴は勿論、クラス会、祝勝会などの会合に是非ご利用ください。  
 本日は神仙閣 神戸店様、電話050-5789-6080さまのご協力を頂きました。

(CM) 「エキストラコーヒーは、来年で、創業93周年を迎えます。  
 1月9日10日11日の3日間、兵庫区柳原蛭子(ひるこ)神社のえべっさんのおまつりでは、特価セールとあわせ、ふるまいコーヒーも、ございます。是非、お立ち寄りください。  
 本日はエキストラ珈琲様 (TEL078-671-0135) のご協力をいただきました。

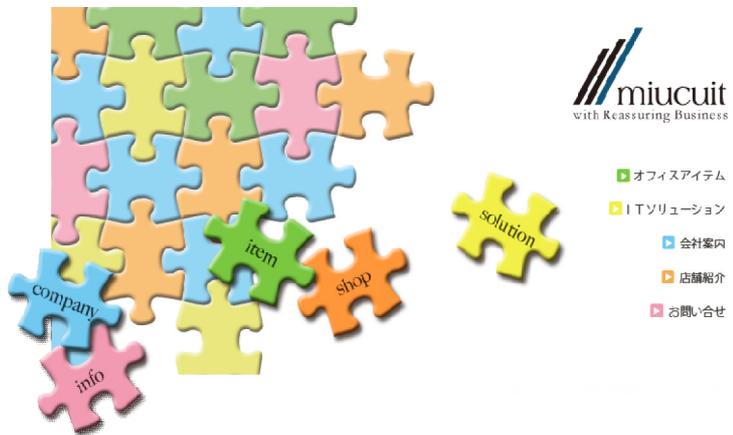
**1. ゲストコーナー(1) 美幸商店社長 中内真人さん(83 陽会)**

先代(父親)の時代は、文具店で、長田の特色であるケミカルシューズ会社に対する特殊な資材の提供をメインにしていた。10年前の9月16日に会社で先代が倒れたため急遽店を引き継いだ。

中内さんは、平野小学校、湊中学校、兵庫高校、神戸商大に進んだが、大学時代よりコンピューターに親しんだ。大学卒業の2000年は、コンピューターとインターネットが一般に普及し始めた時代で、卒業論文をパソコンを使って書いているのは中内さん含め片手で足りる程。他の人は400字詰め原稿に手書きをしていた。

子供の頃から機械を触るのが好きで、数学も好きであったが文系に進み、将来は親の会社を継ぐことを考えていた。色んな経験を積む中でコンピューターが必ず必要と考え、知識の習得のため大学卒業後コン

コンピューターの専門学校に行き、グラフィックデザイン、HPデザイン、インターネット上のプログラム、ネットワーク、サーバーの管理などを勉強した。店を引き継いだ後は、従来の台帳、伝票類を使う事務作業が、紙とペンからコンピューターに置き換わっていったので、それに合わせコンピューターの販売とそのサポートを始めた。お客さんに寄り添ってコンピューター関係の話が出来るのは、美幸商店の強みと考えている。美幸商店は、オフィス商品とコンピューター関連商品のハード販売、ソフトの販売として、名刺のデザイン、会社PRのチラシ作り、店のプロデュース、店のWEBサイト作成などを行っている。店のプロデュースとしては、文具店の扱う机、椅子などのオフィス商品を提供すると共に、建築関係者と一緒にデザイン要素を取り込み、店舗作りの仕事も進めている。ネットワークの構築に関しては、大阪でネットワーク管理の仕事に従事し、その後経験を踏まえ、設備全体の更新時期にある大学のネットワーク管理の仕事をするようになった。ネットワーク管理はインフラとして設備の進化が早いので、継続的な管理が重要になっている。



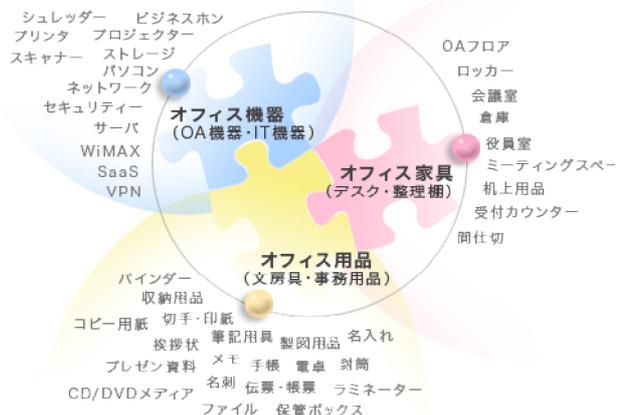
多様なサービスでお客様と一緒にアイデアを実現し  
より快適なオフィスへ

IT solution makes your business comfort.



### オフィス環境のトータルサポート

FIT YOUR BUSINESS



## 2. ミュージック： 時代（歌：ヘイリー） 中島みゆき作詞・作曲

ニュージーランド クライストチャーチ出身のヘイリー・ウインステラさんのアルバム「HEILY sings JAPANESE SONGS」から、中島みゆきさん作詞作曲の「時代」をお届けします。



## 3. ゲストコーナー（2）

税と社会保障の共通番号制度（マイナンバー）の施行が2016年1月1日と目前に迫っているが、中内さんはコンピューター、ネットワークなど非常に詳しいので、マイナンバー制度について解説していただいた。

中内さんが現在マイナンバー関係で取り組んでいるのは、マイナンバーを会社に導入するに当たり何をすべきかについて説明し、中内さんが提供できるもの、例えば文書管理の仕方、マイナンバーの集め方、問題解決のために税理士や社会保険労務士に相談すべきことなどのアドバイスを提供すると共に、文具商品の一つである就業規則テンプレート、法令に基づく書式、従業員に対するマイナンバー収集の目的説明のためのドキュメントなどを提供している。現在のお客さんは、神戸、明石地域の企業、役所関係、学校関係など、事務用品を取り扱うという範疇では非常に多い。

長田など個人商店のマイナンバーに対する取り組みは、現状で、どうすべきかの情報が十分届いておらず、マイナンバー制度が始まることは知っているが、自社がどう取り組むべきかについては、廻りと足並みをそろえてやろうという様子見の声をよく聞く。税金や保険の関係では以前より公共からセミナーなどが開催されている。中内さんもセミナーを開催し説明することもある。説明内容は、国などへの提出書類には、書く必要があるものがあるので、まずはマイナンバーを適切に収集すること。その後きちんと保管し、必要がなくなったマイナンバーは廃棄すること。そしてその一連の手順を管理すること。このような手順を整備するには、帝国データバンクの統計調査によれば、50人未満の企業平均で約50万円の費用が必要と出ている。

企業がマイナンバーで気をつけることは、漏らさないことが大前提。紙に書いてそれを金庫で保管し、使った時はいつ使ったかを記録に残す。社長と従業員1人の場合はそれで良いとしても、従業員が一気に増えた場合は、パートやアルバイトの出入りをきっちり管理する必要があるが難しい。文具店の立場からは、ペンと紙で管理する場合、ファイルで共有し、年度別に管理し、保存する。期限が過ぎると廃棄する。マイナンバーでは紙とペンで記録するところをコンピューターに変えることにより、管理の質を向上させることが出来る。ここでセキュリティの話が出てくる。

インターネットでは、標的型攻撃などで世界中から日本が狙われている現状がある。狙う場合、大手企業のコンピューターに入る許可証を持っている、セキュリティの甘い中小企業を狙い、そこから大手企業に侵入する手法が多い。最近年金機構データ漏えい問題に関し検証委員会は、①情報漏えいの重要性に関する意識の欠如、②組織的な危機管理対応の欠如、③組織横断的有機的な連携の欠如、などの指摘をしている。国民の年金管理という重要な業務が、国の機関で杜撰に扱われていることは本当に嘆かわしい。

このような現状において、マイナンバーが厳密に管理できるかどうか大変心配である。日本人は性善説に基づき行動し、田舎では家の鍵をかけないところも多い。中小企業ではそのような面を持っている所もあるので、マイナンバーの取り組みに関するガイドラインが示されている。そこには人的安全管理措置（管理責任者を決め、監視の目を明確にする）、技術的安全管理措置、組織的安全管理措置（会社としてのチェック体制を作ること、管理の内容を組織的に従業員に周知徹底することなど）などが示されている。一例として、マイナンバーに関わる書類を金庫に保管する場合があるが、他の書類や物品と混在させてはならないことになっている。情報が漏えいした場合に、きちんと管理していたことが証明出来ないためである。マイナンバーの漏えいを心配して、番号を教えることを拒否することが考えられるが、ルール上は会社へのマイナンバーの提出・通知は強制ではなく、拒否による罰則もない。

アメリカでは社会保障番号制度が採用され、なりすましによる莫大な被害が発生しているようであるが、日本では番号が漏れても情報漏れに繋がることは今のところ考えにくい。しかし生存している限りマイナンバーは使われ、将来的にはマイナンバーの用途が拡大するので、将来的不安は残る。マイナンバーについては常に危機意識を持っていることが大事である。必要以上に警戒することはないが、悪事から身を守る手段について一人ひとりが常に関心をもっておく必要がある。全国には何十万社の企業があり、そこでマイナンバーを扱う多くの人々が、高い意識を持って対応出来るかどうかについては大きな心配が残る。NPOなどの団体においても管理規定を定め、責任者を決め、周知することが大事で、何もしないのが一番いけない。故意に漏えい問題を起こした場合は刑事罰の対象になる。企業は管理を委託する場合、再委託されている場合は、再委託先まで管理されている事を確認する必要がある。守秘義務契約だけでなく再委託をしないようにする必要もありうる。

インターネットは利便性（アベイラビリティ）が先行して拡大しているが、安全性（セキュリティ）とは相反する部分があるので、アベイラビリティとセキュリティは同時によく考えて進めて行く必要がある。マイナンバーについて、今は収集し管理し、セキュリティの意識を上げることが最も重要である。世界の中の日本を考えると、日本人同士というような意識は通用しないことを肝に命じておく必要がある。

詐欺をする人は弱者を騙し吸い上げる。マイナンバー制度のセキュリティを国がしっかり確保してもらわないと、と心配する人はマイナンバーを聞かれても教えないと思われる。今後、問題が起っていないことが確認できるまでは、そのような考えで対処しておいてもよい。政府は何重もの壁を作っているので、ナンバーが漏えいしても、直ちに全ての情報が漏えいすることにはならないので、そのことを理解したうえで、一人ひとりの危機意識を高めることが大事である。

#### **4. こぼれた話 こぼれなかった話：来春の公立高校受験はどうなる？**

- (1) 今年度、兵庫県の公立高校の受験は学区再編と選抜方法の大きな変化がありました。来春の入試について、県の教育委員会は、新たな変更は行わず、今年度と同様に実施することを決めました。結局、問題になっていた専門学科などの単独選抜から複数志願選抜に志願状況を見てから変更できる制度はそのままです。
- (2) 一部いわゆる偵察志願があったようですが、実際には通学問題で選択肢の少ない地域では専門学科と普通科の間で悩む生徒もあり、また、学区変更で進学指導が難しくなって難関校といわれていた姫

路西校や長田校が第一志願で定員割れを起こしたりもありましたが、初年度だけに発生したことで情報共有が進めば落ち着き、偵察も有利には働かない、との見通しだったようです。

- (3) 生徒たちのアンケート評価でも、高校の選択肢が増えたことには、①「よかった」が22%、②「少し良かった」が28%で、半分が良しと答えました。選択肢が増えなかった地域で不満が残ったようです。また、学科を選ぶ際の魅力・特色を聞いたところ、①通学の利便性が30%、②校風・学校の雰囲気、③進学・就職の状況が24%、④部活動23%、⑤コース・類型17%、でした。校長先生あたりからは、どの高校を選ぶか悩む生徒が増えた、とのこと。
- (4) この春の受験で、新学区になって、旧学区外から合格した生徒はどのくらいいたか。①第3学区が13%、②第2学区が13%、③第1学区は11%、第4学区9%、⑤第5学区3%でした。第1学区では、旧第3区の須磨・垂水・西から旧第2区の長田・兵庫・北八、その旧第2区からは旧第1区の中央・灘・東灘・芦屋への動きが目立ったそうです。
- (5) 9月の来春の進学調査では、旧学区外の高校を希望した中学3年生は10%で、前年より1%増えています。全日制の全学科・コースの希望倍率は、理数系学科が上位を大部分を占めました。旧学区外からの進学希望は、前年9%、6月時点10%、9月現在では11%と、ちょっとずつ増えています。
- (6) 公立中学校卒業予定者4.9万人、うち98%が高校進学希望で、県内公立88%、県内私学5%、県外進学3%で、昨年と大きな変化はありませんでした。全日制の希望倍率が高いのは、兵庫高校の創造科学科が3.3倍でトップ。次いで、神戸高校の総合理学学科と農業高校の動物科学科が3.2倍、宝塚北高校のグローバルサイエンス科が2.9倍、豊岡高校の理数科が2.8倍と続きます。

兵庫高校の創造科学科が、総合科学類型やコースの実績とその評判のお陰ではないでしょうか。我々も少しはお手伝いできたのではないかと、誇らしい思いです。

## 5. 地域瓦版

第4回仙台・神戸こども絵画交流展が開催されます。仙台展は仙台で神戸市の代表作品を展示、神戸展は、1月26日(火)～1月31日(日)、兵庫県立美術館ギャラリー棟2階で仙台市の代表作品を展示しています。それぞれの大震災からの復興を祈念し、神戸市と仙台市の図工、美術研究部会が連携し、絵画作品を通して子供達の夢や希望を育むとともに、互いの絆とするために開催されます。

ゆうかりに乾杯の過去の放送音声と文書化した放送概要は、下記URLで視聴いただけます。

<http://yukari.hyogo.jp/>